

2023 年度

聖学院みどり幼稚園

学 校 評 価

聖学院みどり幼稚園

建学の精神・教育目標・年間目標

「神を仰ぎ 人に仕う」との聖学院全体の建学の精神(School motto)のもと、「神さまの愛の中で、人と関わりながら、生きる力を育む」を、聖学院みどり幼稚園の教育の目標としている。聖書が証する神さまの言葉に耳を傾け、祈りつつ、「神と人ともに愛され、自主性を持ち、自発的に行動できる子どもを育てる」ことを目指している。

そのため本園では、具体的な教育課題として次の7項目を掲げている。

1. 遊びを通して子ども達の心身の成長(非認知的スキルの育成)をうながしていく。そのために、豊かな経験と知識を持った教員が子ども達の状況を適切に把握し必要な支援を行う。
2. 子ども達自身が個性を伸ばし成長できるための環境作り(個々の興味関心を満たす用具・遊具・自然などが十分に提供される)を重視する。
3. 広い園庭の中、たくさんの草花や樹木や小動物達など豊かな自然に触れ、いのちの大切さと素晴らしさを自らの身体で知る。
4. 礼拝を通して、一人一人には異なる個性と賜物があり、全ての者が神さまに愛されている存在であることを知ると共に、他者のために祈る心を養う。
5. 幼児・児童に対する英語教育の専門家であるネイティブ教員による「英語の時間」や、外国人留学生達との交流を通して様々な文化に対する理解を深める。
6. 音楽や自然体験・文化体験など可能な限り本物に触れることをめざした様々な活動を通して、自身の国の歴史や文化を知り、味わう。
7. 家庭との連携を密にすることにより、子育ての教育環境を整え、また子どもの幼稚園時代にしかできない経験を通して保護者自身も子ども達と共に成長していく。

2023年度の年間保育目標も、例年と同じく「神さまの愛の中で、人と関わりながら、生きる力を育む」とし、「愛の内に歩みなさい」(新約聖書 エフェソの信徒への手紙 第5章2節[聖書協会共同訳])との年度聖句のもとに歩んだ一年であった。

2023年度の評価項目

「教育研究質向上」「施設設備整備」「財政面」「人材・運営体制」「広報・情報公開」について、評価を行った。

自己評価

- A+ = 目標を達成した。
- A = 目標を概ね達成した。
- B = 目標の達成に向けた計画や方策をなどを実行しているが、達成にはまだ時間がかかる。
- C = 目標の達成に向けた計画や方策をなどを実行していない。

2023年度の評価項目、自己評価、目標、具体的な取り組みの状況とその効果に対する評価、今後の方策

評価項目	教育研究質向上	自己評価	A
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・祈りに満ちた校風作り ・キリスト教保育の充実 ・幼児教育の充実 ・保健管理 		
具体的な取り組みの状況とその効果に対する評価、今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・祈りに満ちた校風作りのために、日々の始業前の朝会での礼拝、子どもたちの生活、全園礼拝、職員会の礼拝等を通して、祈りの習慣を身につけることを目標としている。日々の生活を通して、もっと自らの言葉で祈り合う習慣を身につけられるように働きかけたい。 ・キリスト教保育の充実のために、全園礼拝や教会との交わり等を通してキリスト教理念に基づく保育の充実を図ってきた。また、全園礼拝カリキュラムに沿って、全園礼拝の前の週に聖書の学びの会を行った。キリスト教保育連盟や同関東部会等の各種研修に参加し、キリスト教保育についての学びを深めていった。聖学院大学子ども教育学科の特任教授である相川徳孝先生にみどり幼稚園の園長補佐としてアドバイスをいただくことによって、聖学院大学子ども教育学科との連携を図ることができている。なお、「キリスト教保育の考え方を共有している」「子どもたち一人一人を受け止めて保育をしている」ことについては、教員および保護者のアンケート結果からも「強くそう思う」「どちらかといえばそう思う」という回答結果がほとんどであった。キリスト教保育を深める課題について、ますます取り組んでいきたい。 ・幼児教育の充実のために、毎日の報告会や、月1会の職員会（教師会）を通して、子ども一人ひとりの姿を捉えて行った。聖学院大学子ども教育学科や、ぐ 		

	<p>うたら村、保幼小連絡協議会等、各所と連携しつつ、子どもの発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図った。また、相川徳孝先生のアドバイスにより、満三歳児クラスの充実を行い、金谷京子先生に特別支援教育アドバイザーとして子どもたちの姿を見ていただきつつカンファレンスを実施した。なお、「子どもたちの気持ちを大切にし、主体性を育む保育をしている」「子どもたちの育ちに応じた保育プログラムを実践し、個人に添った援助を行っている」ことについては、教員および保護者のアンケート結果からも「強く思う」「どちらかといえばそう思う」という回答結果がほとんどであった。今後さらに学びを深めてゆきたい。</p> <p>・保健管理については、「子どもたち一人一人の表情や様子等から体調変化に気づき、把握に努めている」ことについては、教員および保護者のアンケート結果からも「強く思う」「どちらかといえばそう思う」という回答結果がほとんどであったが、「幼稚園は、子どもたちの健康管理、疾病予防に努めている」については「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」という回答が保護者から10%ほど、教員から25%ほど寄せられた。インフルエンザや溶連菌が流行している中での園行事の開催について不安を与えてしまったことについて、次年度以降の反省点として改善して行きたい。</p>
--	--

評価項目	施設設備整備	自己評価	A
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎の維持および改築に向けての準備 ・園庭環境の充実 ・教具の充実 ・保育業務における ICT 化 		
具体的な取り組みの状況とその効果に対する評価、今後の方策	<p>・園舎の維持および改築に向けては、2022年度には園舎屋上防水と南面の修繕およびプレイルーム西側タープの交換を行ったが、2023年度は園舎東面とプレイルーム床面の修繕および2階トイレとシャロンルームの配管、そして裏門と蛇腹扉の高官、外柵の修繕を行った。2024年度には園舎北面と西面の修繕や雨漏の修繕を行う予定である。園舎は老朽化しているため、改築に向けて計画を立てて行きたい。なお、「補修・修繕等を含めた教育環境設備の点検、整備を適切に行っている」ことについては、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」という回答が保護者から28%ほど、教員から33%ほど寄せられた。これは、園舎の老朽化だけではなく、お庭の会の際に鶏小屋を薪の収納庫に変えようと金網を取り外した後に強風によって倒れたことが影響している。既存の倉庫などに手を加える際には、強度が不足しないように確認を行うこととしたい。</p> <p>・園庭環境の充実については、ぐうたら村（代表：汐見稔幸先生）での継続的な研修などを通して、循環型社会を目指す園庭を作ってゆこうとしている。</p>		

	<p>また、「お庭で育つ会」を保護者の方々や子どもたちに呼びかけ、自然の一部である私たちが、豊かな自然に恵まれたみどり幼稚園の園庭をより深く理解し、その豊かさの継続や深まりのために、みんなで「園庭を育てていこう」という思いでアイデアを出し合いながら、新しい試みに挑戦している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教具の充実についても、積み木など、不足していた教具を導入することができた。これからも年度ごとに見直してゆき、定期的に導入して行きたい。 ・ICT化については、2023年度より園バス運行のICT化システム「バスキャッチ」を運用し、「れんらくアプリ」を用いることによって、バスの運行状況について保護者が確認をすることができるだけでなく、園側で出欠の状況の確認、バス送迎の有無の確認、預かり保育や給食・おやつの利用の有無の確認、その他連絡事項の有無などの確認、各種引き落としをすることができるようになった。また、これまで紙で配付していたお手紙やアンケートをアプリでの配信に変更することができた。 ・昨今の車内置き去り事故を背景に、埼玉県学事課の指導のもと、2023年度に聖学院みどり幼稚園でも、「車内置き去り防止安全装置」を設置した。
--	--

評価項目	財政面	自己評価	B
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・制度面での対応 ・利用定員の確保 		
具体的な取り組みの状況とその効果に対する評価、今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の面では、2023年度は「子ども・子育て支援新制度」のうち、施設型給付を受ける幼稚園へと移行して2年目の時を過ぎた1年であった。 ・利用定員の確保については、100名からスタートした園児数は、年度末には117名となり、利用定員105名を上回ることができ、新制度のメリットを活かすことができた。ただし、老朽化した園舎の維持管理のための費用が大きくなっている。 		

評価項目	人材・運営体制	自己評価	A
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間の信頼関係を構築しつつ専門性を高める ・人員配置の適正化 ・運営の適正化 		
具体的な取り組みの状況とその効果に対する評価、今後	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間の信頼関係の構築については、お互いに話しを聴き合い承認し合うことを心掛けつつ、教職員一人ひとりが各々の見識を深め、自らの専門性を高められるように積極的に支援していった結果、ぐうたら村での研修やソニー財団のゼミなどに参加し、自ら専門性を高めて行く教員が出始めている。 		

の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・人員配置の適正化については、2022年度からの新制度移行により、幼稚園教諭の配置を増やすことができたことを受け、私学助成を受けていた時には配置を整えることができずに9月からの受け入れとしていた満三歳児クラスについて、2024年度からは4月から受け入れることとした。 ・運営の適正化については、子ども・子育て支援新制度の内、施設型給付を受ける幼稚園として、運営が適正化されるように整えてきた。また、就業規則に基づいた勤務となるように働きかけている。
------------	---

評価項目 【テーマ】	広報・情報公開	自己評価	A
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人がみどり幼稚園の保育の良さを伝えられるようにする ・未就園児クラスの充実 ・パンフレット・チラシやマス広告を用いる ・ホームページやSNSを用いる ・学校評価の実施、公表、報告 		
具体的な取り組みの状況とその効果に対する評価、今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人がみどり幼稚園の保育の良さを伝えられるようにすることについては、みどり幼稚園が大切にしていることを、日々の保育や例会や行事等を通して、保護者に十分に伝えることを心がけてきた。また、同窓会やみどりフェスタ等で、卒園生やその保護者および同窓会の方々とは共有することを心がけてきた。そして、教職員のみならず、保護者の方々の中からも、地域との様々な繋がりの中でみどり幼稚園をアピールする企画を提案し、実行して下さるようになってきたことに感謝である。 ・未就園児クラスの充実については、0歳児からの「園庭解放」および1歳児からの「親子で遊ぶ会」については、HP等を通してアピールを行い、実施している。2歳児からの未就園児親子クラス「たまご組」については2023年度の開催はなかったため、2024年度は準備中である。3歳児からの未就園児親子クラス「ぐり組」「ぐら組」については、HP等を通してアピールを行い、実施している。 ・2023年度は、毎月1回、見学会を行なった。2024年度の学年歴にも組み込み、より充実させてゆきたい。 ・パンフレット・チラシやマス広告を用いることについては、パンフレットをリニューアルし、HPからもリニューアルしたパンフレットを見ることができるようにした。 ・ホームページやSNSを用いることについては、ホームページの他に、Instagramおよびfacebookで日々の保育の様子をアピールしている。 		

	・学校評価の実施、公表、報告については、3月に自己評価アンケートを実施し、2024年度中に学校評価を公開する予定である。
--	--

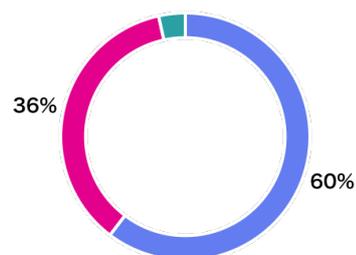
総合評価

「教育研究質向上」「施設設備整備」「財政面」「人材・運営体制」「広報・情報公開」の5つの項目についてについて評価を行い、目標を概ね達成できていると思われる。引き続き具体的な取組を教員各々が熟考、共有し、実践していきたい。園児一人一人が喜びをもって園生活を送り、その園児の姿を通して、保護者からもより信頼を寄せられる幼稚園であるように、保護者との連携をさらに深め、安心感をもって子育てができる環境づくりに努めてゆきたい。

2023年度 学校評価アンケート 聖学院みどり幼稚園・保護者

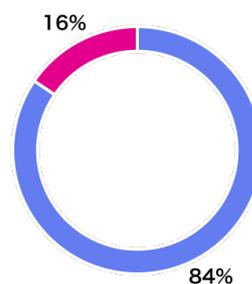
1. 質問 1 幼稚園はキリスト教保育の考え方を、保護者と共有している。（礼拝、保護者会、手紙、話等）

● 1：強くそう思う	35
● 2：どちらかと言えばそう思う	21
● 3：あまりそう思わない	2
● 4：まったくそう思わない	0



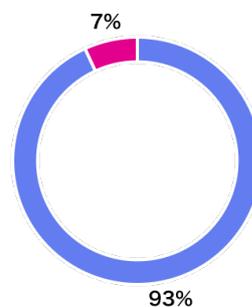
2. 質問 2 幼稚園は、子どもたち一人一人を受け止めて保育をしている。

● 1：強くそう思う	49
● 2：どちらかと言えばそう思う	9
● 3：あまりそう思わない	0
● 4：まったくそう思わない	0



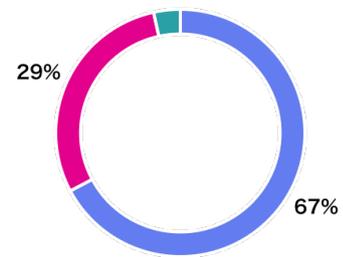
3. 質問 3 幼稚園は、子どもたちの気持ちを大切にし、主体性を育む保育をしている。

● 1：強くそう思う	54
● 2：どちらかと言えばそう思う	4
● 3：あまりそう思わない	0
● 4：まったくそう思わない	0



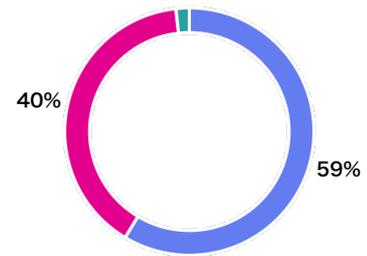
4. 質問 4 幼稚園は、子どもたちの育ちに合った保育プログラムを実践し、個人に添った援助を行っている。

● 1：強くそう思う	39
● 2：どちらかと言えばそう思う	17
● 3：あまりそう思わない	2
● 4：まったくそう思わない	0



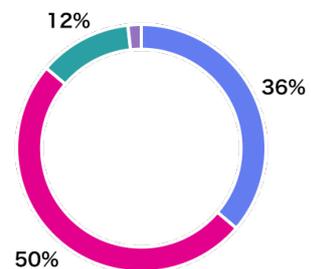
5. 質問 5 幼稚園は、子どもたち一人一人の表情や様子等から体調変化に気づき、把握に努めている。

● 1：強くそう思う	34
● 2：どちらかと言えばそう思う	23
● 3：あまりそう思わない	1
● 4：まったくそう思わない	0



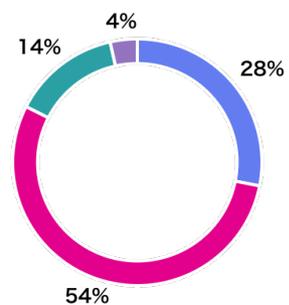
6. 質問 6 幼稚園は、子どもたちの健康管理、疾病予防に努めている。（園医と連携の上）

● 1：強くそう思う	21
● 2：どちらかと言えばそう思う	29
● 3：あまりそう思わない	7
● 4：まったくそう思わない	1



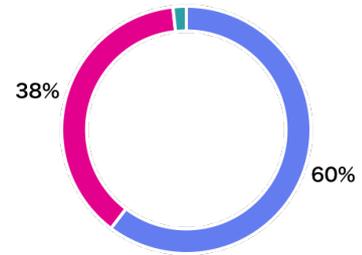
7. 質問 7 幼稚園は、補修・修繕等を含めた教育環境設備の点検、整備を適切に行っている。

● 1：強くそう思う	16
● 2：どちらかと言えばそう思う	31
● 3：あまりそう思わない	8
● 4：まったくそう思わない	2



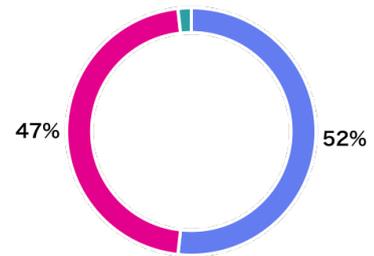
8. 質問 8 幼稚園は、子どもの興味や関心、育ちに応じて遊具・教材を整えている。

● 1：強くそう思う	35
● 2：どちらかと言えばそう思う	22
● 3：あまりそう思わない	1
● 4：まったくそう思わない	0



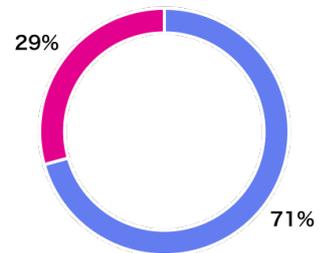
9. 質問 9 幼稚園は、日頃から子どもたちの様子を保護者に伝え、また、保護者からの話を聞き、共に子どもの育ちを支えている。

● 1：強くそう思う	30
● 2：どちらかと言えばそう思う	27
● 3：あまりそう思わない	1
● 4：まったくそう思わない	0



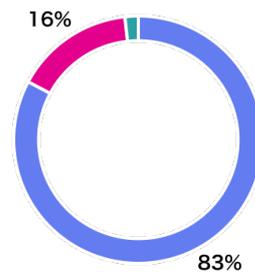
10. 質問 10 幼稚園は、子どもたちの心身の健全な発達を願い、保護者と連携を図っている。(保護者会、講演会、行事等)

● 1：強くそう思う	41
● 2：どちらかと言えばそう思う	17
● 3：あまりそう思わない	0
● 4：まったくそう思わない	0



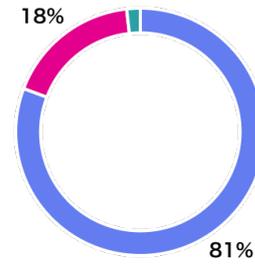
11. 質問 11 お子さんは、幼稚園で過ごす事を楽しいと感じている。

● 1：強くそう思う	48
● 2：どちらかと言えばそう思う	9
● 3：あまりそう思わない	1
● 4：まったくそう思わない	0



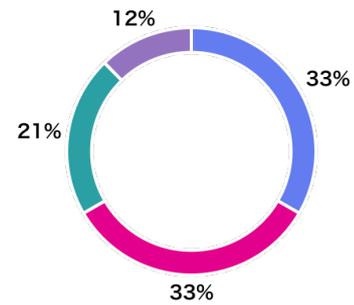
12. 質問 12 幼稚園の教育・保育に満足している。

● 1：強くそう思う	46
● 2：どちらかと言えばそう思う	10
● 3：あまりそう思わない	1
● 4：まったくそう思わない	0



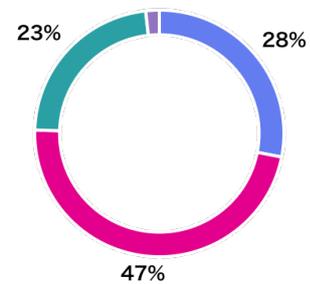
13. 質問13 私は、学校法人聖学院のスクールモットーが「神を仰ぎ、人に仕う」"Love God and Serve His People"であることを知っている。

● 1：強くそう思う	19
● 2：どちらかと言えばそう思う	19
● 3：あまりそう思わない	12
● 4：まったくそう思わない	7



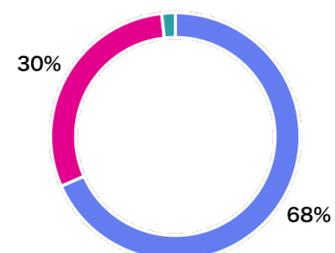
14. 質問14 私は、学校法人聖学院のスクールモットー「神を仰ぎ、人に仕う」"Love God and Serve His People"に共感している。

● 1：強くそう思う	16
● 2：どちらかと言えばそう思う	27
● 3：あまりそう思わない	13
● 4：まったくそう思わない	1



15. 質問15 幼稚園は、「神を仰ぎ、人に仕う」"Love God and Serve His People"のスクールモットーに基づいて、保育目標である「神さまの愛の中で、人と関わりながら、生きる力を育む。」を大切に保育を実践している。

● 1：強くそう思う	39
● 2：どちらかと言えばそう思う	17
● 3：あまりそう思わない	1
● 4：まったくそう思わない	0



16. ご意見をお寄せいただけましたら幸いです。

31
応答

16. ご意見をお寄せいただけましたら幸いです（保護者）。

※保護者の方々からのご意見を項目ごとにまとめさせていただきました。全てのご意見に目を通させていただきます。お問合せについては、お答えをさせていただきます。

【保育について】

- ・主体性の保育のすばらしさに感動します。それは全ての先生たちへの安心感があるからこそだと思います。私も学ぶべきことがたくさんあります。
- ・自主性を大切にされていて、それぞれの行動を見守り支えてくれています。
- ・子どもたちがのびのび遊んでいる姿を見ると、先生や環境が素晴らしいと感じます。今後も楽しい発見や想像できる場所、安心できる場所であってほしいと思います。
- ・クラスの中で過ごす時間も充実していて、預かり保育も楽しんでいます。
- ・全体的に活気があって、のびのびとみんな楽しそう。
- ・途中入園にもかかわらず、先生大好き！幼稚園大好き！友だちともなんとなく仲よくなりつつある我が子を見て、とても感謝しています。
- ・園生活がとても充実しているのので、卒園が寂しいです。本当に、この園を選んで良かったです。ありがとうございました。
- ・毎日楽しく通わせて頂きました。子どもによりそい、自由を尊重してくれる素晴らしい幼稚園です。大変お世話になりました。ありがとうございました！
- ・たくさんの自由に使える教材や、自然豊かな園庭など、子供たちにとってはたくさんの遊び道具が常にあり、とても感謝しています。
- ・いつも幼稚園で元気いっぱいにあそばせていただき、先生方やお友だちに支えていただき、母も日々の成長を楽しむことができます。心から感謝しています。
- ・日頃から子ども達の好奇心を育み、こころに寄り添う保育をしてくださりありがとうございます。大人目線で子ども達を管理することなく、同じ目線に立って、「将来のため」ではなく思いっきり「今」を楽しむ力を高めてもらっている気がします。4月から小学生になりますが、みどり幼稚園で過ごした3年間を胸に、これからも自分の世界を楽しんで成長して行ってほしいです。子どもの成長を共に支えてくださりありがとうございました。
- ・年中さん、年長さんに助けられることも多かったようで、「〇〇ちゃんに～してもらったんだ」とよく言っていました。「(次年度は) 自分も (困っている子に) 『どうしたの?』って聞いてあげるんだ」と、2月後半からしばしば口にするのを耳にすると、日頃の園生活でお兄さんお姉さんとの関わりが思われて嬉しく思います。今後とも宜しく願いいたします。

・その時期に用いる物や園庭に出す遊具等、どんな環境設定の中で過ごしているのか、どんな歌と、他に取り組んでいるのか、一目で分かると幸いです（バス送迎ですと、こひつじノートや例会のお話し、子どもの話しだけでは見えない部分が分かると助かります）。

→園だよりやクラスだより、みどり通信などを通して、さらに分かりやすく伝えられるように工夫してゆきたいと思います。

【キリスト教保育について】

- ・キリスト教については知らないことが多いままの入園となりましたが、家ではイエスさまの話しや教えを嬉しそうに話したり演じたりしています。心も育っていくのを感じます。ありがとうございます。
- ・満三歳児組のクリスマス会でも、先生が作品を1つ1つ丁寧に作ってお話しして下さったイエスさまのご降誕の物語りなど、子ども達の心に響いているのではないかと思います。
- ・クリスマスツリー点火祭での子ども達のお祈りも、とても素敵でした。子ども達が活躍できる場をたくさん作って下さり、ありがとうございます。

【園行事について】

- ・イベント等では先生方が知恵を絞り、どうしたら子供達に楽しんでもらえるかを一番に考えてくださっているのが伝わり、とても嬉しく感じます。一人ひとりを重じ個性を尊重して下さる点や、立派な施設を使わせていただいていることはとても感謝です。

-
- ・年長の行事について、教えて頂きたいです（お泊り会：1日目何時～2日目何時迄？、ありがとうの会、お別れ会、卒園礼拝、謝恩会等）。年間／学期毎の保育カリキュラムの様な計画が共有できたら嬉しいです。

→その時その時の子どもたちの姿から園行事を組み立てゆきますので、最終的な決定が間近になってしまうこともあります。保護者の方々と共有してゆければと思います。

- ・音楽会を教会の美しい響きの中で聴かせてあげたいです。

→2024年度の音楽会については、大学チャペルをお借りしての音楽会を予定しています。

- ・行事の時、年長が朝一番の時間帯になると嬉しく思います。

→行事の性質、子どもたちの成長などを考えながら、保育や行事に向き合うと、自分自身のこと、園生活や仲間関係などに、柔軟に向き合うことのできる年長さんに、多様な対応をしてもらうことが多くなります。保護者の方のご希望も視野に入れながら、工夫していきたいと思います。

【給食・お弁当・おやつについて】

- ・4月よりお弁当必須の日は週一回になり、柔軟化したのはとても助かります。ありがとうございます。

-
- ・子どもたち1人1人の心をととても大切にしてくれるのは、みどり幼稚園のとても素晴らしい点で、信頼の要と思っています。ただ、心身の健康は、心だけではなく、健やかな成長のための体づくり・食育として、おやつが改善されると良いのにと感じてしまいます。幼児にとって間食（おやつ）は、三度の食事では補いきれない「エネルギー、栄養素、水分の補給の場」として、栄養や品質へ配慮したより適切なおやつを園児みんなが口に出来る事を願います。誕生会では、園庭や畑と自然に恵まれているからこそ、誕生月らしい季節の自然の恵み、果物や野菜等、手を加えず、そのものの美味しさを共に味わえる機会になると嬉しいです。おやつは甘い

物・お菓子とせず、きゅうり・芋類・トマト等の野菜もおやつとしても良いと思います。収穫感謝祭会食やありがとうの会等でのシチュー（乳含む）は、「味噌汁」にして頂きたいです。

→おやつの改善についてのご要望をありがとうございます。食に対する価値観は様々にございますが、聖学院みどり幼稚園においてもできるだけ自然の恵みを味わえるように工夫してゆきたいと思っています。

【教職員について】

- ・毎日、先生方が集まって子どもたちのことを共有しあって、担任の先生だけでなくすべての先生方が子ども1人1人に対応しようと努力してくださっている。これは本当にすごいことだと思うし、保護者として感謝しかありません。ありがとうございます。
- ・先生方の保育の熱心さに感謝しています。しっかり子どもたちの様子を見守ってくださり、安心しています。
- ・先生方みなさんが一人一人をしっかり見てくださっているのがこちらにも伝わってきます。
- ・いつもお世話になりありがとうございます。先生方、職員の方々に見守っていただき、のびのびと楽しく年少の1年を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。
- ・いつも子どもを温かく見守ってくださりありがとうございます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。
- ・園長先生も子ども1人1人の名前を覚えて、名前をよびながらあいさつをしてくださってありがたいことだと毎回思っています。お忙しいなかでも先生のそのお姿から子どもや保護者に対しての温かな心づかいがよく伝わってきてとても嬉しいです。
- ・いつも影で園の子どもたちを支えてくださっている園長補佐の先生。もっとお話をうかがう機会があると嬉しいです。ピアノもお上手で素敵だし、先生のお話（例会での）もとても興味深かったです。
- ・バスの添乗員の方々にも大変お世話になりました！行きしぶりがあった時も「添乗員さんのお話が聞きたいから行く！」とって助けていただいた日が何日もありました。

-
- ・主幹の先生はアクティブで本当に幼稚園のためにたくさんの働きをしてくださったのもしいです。先生が学ばれたこと（今年度の参加された研究内容）もうかがえると嬉しいです。

→私たち保育者の学びは、保育者たちだけのものではなく、子どもの育ちを共に見守る保護者の方々とだからこそ、深まっていくものだと思っています。そのような意味でも、学びを共有できる機会があるとよいと思います。

- ・2学期半ば頃まで、子どもの名前を5つ年上の兄弟の名前で複数の先生方から呼ばれることが多々あり、子どもに嫌な思いをさせていないか心配でした。先生方に名前を間違えていることをお伝えしても、あまりまじめに受けとめて頂けていないような印象でした。

→お名前を間違えて呼んでしまいまして、申し訳ございませんでした。間違えがないように気を付けてゆきます。

- ・お電話を出る際、お名前をおっしゃって頂けると嬉しいです（どなたと話しているのかわかる方が安心します）。

→「聖学院みどり幼稚園の〇〇です」と電話の応対を共有してゆきます。

- ・幼稚園からのお知らせに誤字が多い事が気になります。

→園だより、クラス便りなど、配布前に、2重チェックをしています。さらに注意してまいります。

- ・連絡事項がなかなか伝えてもらえないことがありました。しめきり当日に「今日しめきりですがどうしますか？」と伝えられたことがありました。送り迎えをしていない保護者に対しても確実に伝わる方法を考えてほしいです。

→ご迷惑をお掛けして申し訳ございません。前もって分かりやすくお知らせできるような工夫と合わせて配慮していきます。

- ・毎年書いていることですが、主幹が全ての仕事を抱えすぎていると感じ不安に思うことがあります。実際、あまりにもハードでヴェリタス祭直前で体調を崩されていました。少額の引落しの質問に関しても、事務員が答えられず、全て主幹しかわからないとのことでした。もう少し効率よく分業できたらよいと思います。

- ・子どもたち一人一人の成長のため、日々時間、労力、学び、準備等、多くのことを尽力して下さっていること、心から感謝しています。全てにおいて“1”をつけたいほど大満足しておりますが、少し“2”にしたのは、先生方が多くのことを担っており、手が足りていないこともあるのではないかと思ったからです。

- ・先生方の負担が多くないか心配になる面もあります。

→2022年度以降の数年間、主幹や保育者、事務職員に至るまで、メンバーや体制が変わり、それに伴って連携や仕事分担など、未熟な部分も多くありましたことお詫び申し上げます。活動の先が少しずつ見えてきたこと、保育者一人一人が出来るようになってきたこと、職員間の連携や保護者のみなさんとの協働的活動が増えてきたことに力をいただいて、今後の調整や工夫を、子どもたちのために進めていきたいと思っております。

【施設設備について】

- ・鳥小屋の屋根も飛ばされ解体していただき安心しました。他にもチェックをお願いしたいです。

- ・鳥小屋の倒壊もありましたので、園庭及び園内の安全面の点検・評価を外部の方等で実施頂いた結果を伺えると安心です。

- ・遊具や設備の点検、整備には、もう少し力を入れてほしいなと望んでおります。

→園舎や園庭遊具等の施設設備について、外部の業者に点検をしていただいております。鳥小屋については、本来の用途以外に薪をしまう小屋として使用しようとフェンスを取り外したことが強度不足につながってしまいました。本来の用途や強度について確認しながら点検・整備をしてゆきます。

【衛生管理について】

- ・12月のインフルA型、溶連菌ウイルスが大流行している中のクリスマスの降誕劇は延期するという選択肢もあったのではないのでしょうか。

- ・年長児のクリスマス礼拝で、インフルエンザ、溶連菌の罹患園児に対し、短時間であっても登園の許可を出すべきではなかったと感じます。その後の爆発的な感染、園児だけでなくその家族も含めると相当な感染者数だったのではないのでしょうか？子供達が楽しみにしていたクリスマス、そして年末年始、冬休み…帰省や家族旅行、イベントを取りやめたケースも耳にしています。気持ちは分かりますが、元気だった園児を第一に守るべきです。

- ・クリスマスの降誕劇をどうして終業日に強行したのか。後日、チャペルで行ったと聞いてますます疑問でした。年長の子どもの安全・健康を1番大切にしてほしいです。降誕劇は後日もできます。インフルエンザの子を連れてきてまで行うことではなかったと思います。子どもや先生方のお気持ちもわかります。が、年長さんならダメなものはダメ!!も経験のひとつです。これだけは考え直していただきたいです。

→学校保健法に基づいて、インフルエンザなどの感染症は、全体数の3分の1の欠席者数が認められる場合に、クラス閉鎖とさせていただきます。昨年度は、2学期終業の直前に、3名の罹患者を確認しておりました。行事の有無に関わらず、可能性のある見えない罹患者を考慮して、登園を中止するという選択は、予定しておりませんでしたこと、ご理解いただけますと幸いです。しかしながら、療養期間終了日に、最後の行事だからと参加していただく判断をしたことは、やはり間違っていたと反省いたします。ご意見くださったことを真摯に受け止め、今後に生かしていきたいと思っております。

- ・水道水をそのまま飲むこともあるようですが、幼稚園の水道管や水質の検査はどの位の頻度で実施されているのか、情報を頂けると安心できます。

→飲料水水質検査および学校水道・排水設備検査は、現在は年1回の頻度で行っています。

【バスキャッチシステムについて】

- ・バスキャッチアプリの写真ダウンロードについてなのですが…（保育に関してではありません、すみません）スマホ内で写真を数多く見て選択となると画面が小さく、操作しにくいと感じています…できればPCでサッとたくさん確認できて選択もできクレジットカードなどで支払えると手間がかからずすみません。ご検討よろしく申し上げます（データ購入→写真プリントなしだけでもOKだと考えています）。

→利用してくださる方々にとって、使い勝手の良い方法を工夫いたします。

- ・日々の温かな保育に感謝申し上げます。アプリのスケジュールに、“1年分”（年間予定表）の『時間』（開始～終了予定時刻や降園時刻）も反映頂けると幸いです。

→反映していけるよう、努力いたします。

【保護者の幼稚園への関わりについて】

- ・保護者として、少しでもお手伝いしていけたらと思います。

- ・これからは、お庭で育つ会に参加させていただき、親娘でお庭と共に豊かに育っていきたく思っておりますので今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

- ・幼稚園のシステムが少しずつ変わっている中で、保護者としてできることを先生方と協力して探していけたらと思っています。先生方が無理なく神様の恵みと支えの中でお仕事できるように、お祈りしています。

- ・みどりフェスタが任意参加になって良かったです。

- ・みどりフェスタ、謝恩会など、保護者が中心となって行わなくてはならない行事が多く、それに関わることで喜びや楽しさは分かるころはありますが、同時に問題もかかえているころがあると思っております。

- ・共働きの為、園の主催する礼拝やボランティア会などにあまり参加できずにいます。クラス委員も参加難しく、今後そのようなご家庭が増えると考えた時、園の運営が滞るのでは？と危惧しています。

→「やらねば」を減らして「やりたい」を増やそう。その「やりたい」は、できるかどうか、どこまでするか、という境界線もよく見据えながら進めていけることが望ましいと思います。保護者の活動として区分される見え方より、出来る人と、出来ることを、子どもたちのために楽しむとスタイルになって行けるよう、園としても工夫や改善を重ねてゆきます。

- ・役員決めについて、アプリアンケートで立候補を募る方法はあまり良い方法だと思いませんでした。「役員に関心がある」「迷っている」にチェックを入れると、先生から電話がかかってくると思うと…ちょっと意思表示しにくいです。もっと保護者一人一人がクラスの仕事に関心をもってもらえるような決め方（人任せにせず）があるといいのですが…基本的には、みどり幼稚園の園庭や校風にほれて子どもを通わせています。今年度もみどり幼稚園でのびのびと子育てができたことを感謝しています。

- ・働く母親や子育てをする父親など、現代的な子育て状況をふまえた幼稚園の行事や保護者活動を考えていただけるとうれしいです。

→時代の流れ、家庭の環境、社会情勢など考えますと、クラス委員や保護者の活動をどのように考え直していくかは、今度優先して考えていくべきことだと認識しています。“しなければならぬこと”としてではなく、“やりたいこと”として、私たち大人が、それぞれに何ができるのかを、幼稚園という組織だからこそ、無理なく進めてける方法を、是非保護者の皆様と一緒に考えてゆきたいと思います。

- ・幼稚園例会の話しが長いので、出席するのが負担です。

→子どもたちの出来事を共に共有し、今や次へとつなげていける時間になるようにと考えています。負担と感じさせずともならないような工夫や配慮を考えてゆきます。

- ・例会に出席できなかった保護者への対応が冷たいと感じることがあります。出席できなかった人には、例会で配った用紙ではなく、内容まで記載したプリントをいただけるとありがたいです。

→今年度からは、例会に出席できなかった方には、当日配布したレジュメに要点を書き込んだものを、翌日以降に配布させていただいています。出席できない事情はそれぞれだと認識しておりますが、例会への参加は、今後もお願ひしてゆく予定です。ご理解いただけますよう、よろしくお願ひいたします。

【その他】

- ・1年間お世話になりました！ありがとうございました。
- ・物価高騰等を理由に費用を上げていただいてもよかったのでは…と勝手に思っていました。
- ・貴重な体験をさせていただきました。本当にありがとうございました。
- ・在園児ではなく、その兄弟にも対応してくださるところ、親としてありがたいです。

- ・わかば組から3年半、沢山の成長が幼稚園と共にありました。母だけでは乗り越えられないことも一緒に考え寄り添っていただけたことで、また新たな扉が開けたと思っています。
- ・親も共に成長させていただき、先生方には心から感謝しております。
- ・二人の子どもがお世話になり、それぞれ3年半の間、遊び中心の伸びのびとした保育をしていただき、心から感謝しています。2人ともずっと幼稚園が大好きで毎日楽しんで通っていました。上の子は今年小5になりますが、図画工作が得意で大好きです。それもみどり幼稚園でたくさん 工作を楽しんでいたおかげかなと思っています。下の子もみどり幼稚園で過ごした時間を土台にして、小学校でもすくすく成長していったらいいなと思っています。素敵な幼稚園で大切な幼児期を過ごすことができ本当によかったです。約7年間本当にお世話になりました。ありがとうございました！
- ・神さまと先生方の広くて深い愛に見守られながら、子どもたちは遊びを通してたくさんの夢を抱き、いろいろな経験を積むことができました。このことが親として幸せに感じます。お泊り保育の迎えの帰りの車の中で、楽しかったからあと100回くらいお泊りしたいと満足した様子の娘に、先生方が倒れてしまうから10回くらいにしておこうか…と心の中でつぶやいたことを懐かしく思い出しました。泊を伴う保育の実施における先生方のご苦労ははかり知れません。

-
- ・年々入園の園児数減少はとても残念です。子どもが大きくなっても戻れる場所があって欲しい！ より選ばれる幼稚園になって欲しい!!
 - ・園児が減っている件で、家族からですが、みどり幼稚園の“特徴”が中途半端なのではないか、という意見がありました。”
 - ・是非、遊ぶ会や説明会来訪の父母に、入園を決める優先事項、園に求める事、迷っている点、知りたい事、気がかりな事など、アンケートを取り、説明会での内容に反映させていただくのはいかがでしょうか？

→ご意見やアイデアをありがとうございます。2022年度より開始したInstagramで、保育の様子を知ってもらうこと、地域とのつながりに目を向け働きかけることで、みどり幼稚園を地域の中で、もっと周知してもらうこと、園を探している保護者の方が必要としている情報を、上手に届けること、みどり幼稚園が大事にしていることを、理解して気に入ってもらえるような開示の方法を考えること、など、学校法人聖学院の広報センター・情報センターなど、皆に支えてもらいながら、園としてしっかりと取り組み、入園者数つなげられるようにと考えています。

- ・HP上の「今日のみどり幼稚園（日記）」を更新してはいかがでしょうか。

→「今日のみどり幼稚園」は現在、Instagramをメインにしています。ブログ形式をどのように用いるかは今後検討してゆきます。

- ・ランチBOXのチョコレートの件や、にわとり小屋の転倒など管理のゆるさも気になります。

→2024年度お別れ会のランチに、ナッツ入りのチョコレートが入っていた件は、本来であれば、業者が購入者（幼稚園）に開示しなければならない案件でした。園としましては、了解なしにその品物がランチに入ることになった原因説明を業者へ要求しました。と同時に、今後その業者の利用についても考えていくという判断をしております。鶏小屋の件は先に触れております。管理という点でのご指摘は真摯に受け止め、今後気を付けてゆきたいと思っております。

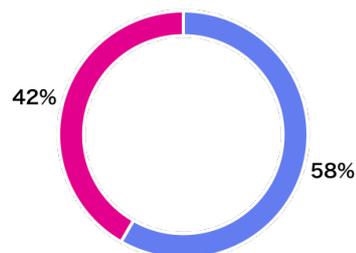
- ・いつもインスタグラムを楽しみに拝見していますが、年長組のお泊まり保育の時もタイムリーに前日、当日とUPがあったと思います。保護者としては、少しでも安全に過ごしてほしいと思うので、SNSはどんな人が見てるか分からないし、様々な思想を持つ危険な人もいるはずで、夜間の警備や侵入の心配もあるため、お泊まり保育は内密にさせていただき、後日UPしていただくなど配慮を強く思いました。

→貴重なご意見ありがとうございます。場所や時間、人物の特定される機会に関しまして一層気を付けて展開してゆきます。

2023年度 自己評価アンケート 聖学院みどり幼稚園・教員

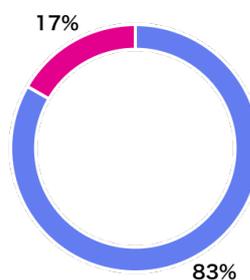
1. 質問 1 教員は、キリスト教保育の理念を共有している。

● 1：強くそう思う	7
● 2：どちらかと言えばそう思う	5
● 3：あまりそう思わない	0
● 4：まったくそう思わない	0



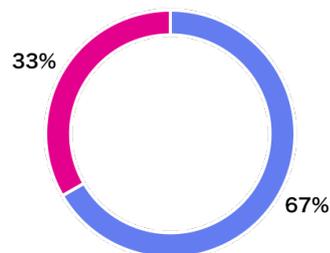
2. 質問 2 幼稚園は、園児一人一人の発達・個性を把握し、愛情を注いで保育をしている。

● 1：強くそう思う	10
● 2：どちらかと言えばそう思う	2
● 3：あまりそう思わない	0
● 4：まったくそう思わない	0



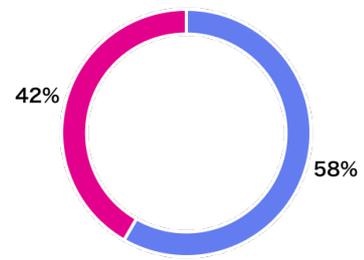
3. 質問 3 幼稚園は、園児一人一人の興味・関心を高め、自主的・意欲的に活動できるように保育をしている。

● 1：強くそう思う	8
● 2：どちらかと言えばそう思う	4
● 3：あまりそう思わない	0
● 4：まったくそう思わない	0



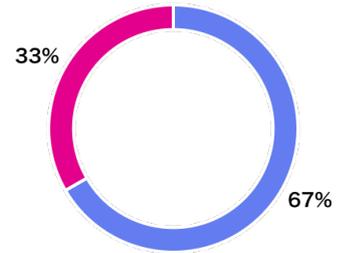
4. 質問 4 幼稚園は、子どもたちの育ちに合った保育プログラムを実践し、個人に添った援助を行っている。

- 1：強くそう思う 7
- 2：どちらかと言えばそう思う 5
- 3：あまりそう思わない 0
- 4：まったくそう思わない 0



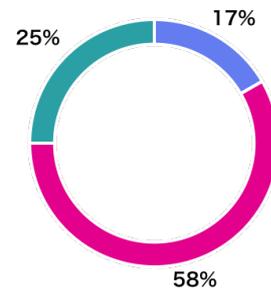
5. 質問 5 幼稚園は、園児一人一人の表情や様子等から体調変化に気づき、把握に努めている。

- 1：強くそう思う 8
- 2：どちらかと言えばそう思う 4
- 3：あまりそう思わない 0
- 4：まったくそう思わない 0



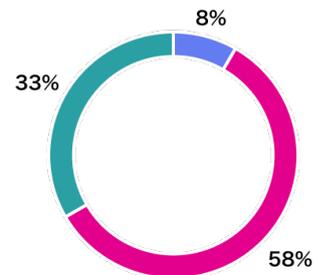
6. 質問 6 また、怪我、疾病等の対応については園医に相談の上、行っている。

- 1：強くそう思う 2
- 2：どちらかと言えばそう思う 7
- 3：あまりそう思わない 3
- 4：まったくそう思わない 0



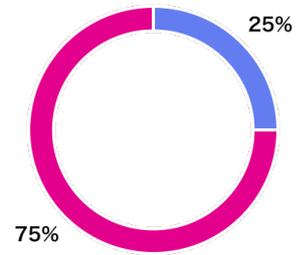
7. 質問 7 幼稚園は、補修・修繕等を含めた教育環境設備の点検、整備を適切に行っている。

- 1：強くそう思う 1
- 2：どちらかと言えばそう思う 7
- 3：あまりそう思わない 4
- 4：まったくそう思わない 0



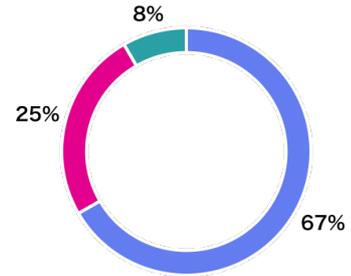
8. 質問 8 幼稚園は、子どもの興味や関心、育ちに応じて遊具・教材を整えている。

- 1：強くそう思う 3
- 2：どちらかと言えばそう思う 9
- 3：あまりそう思わない 0
- 4：まったくそう思わない 0



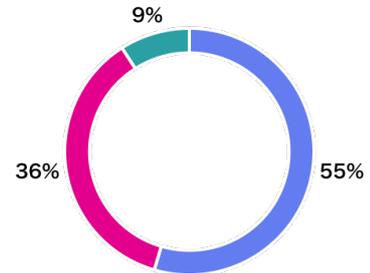
9. 質問 9 幼稚園は、保育者の教育・研究の為の環境（学会・研修会への参加も含む）づくりに努めている。

- 1：強くそう思う 8
- 2：どちらかと言えばそう思う 3
- 3：あまりそう思わない 1
- 4：まったくそう思わない 0



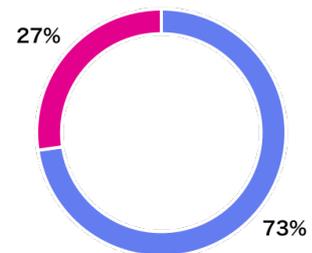
10. 質問 10 幼稚園は、日頃から子どもたちの様子を保護者に伝え、また、保護者からの話を聞き、共に子どもの育ちを支えている。

- 1：強くそう思う 6
- 2：どちらかと言えばそう思う 4
- 3：あまりそう思わない 1
- 4：まったくそう思わない 0



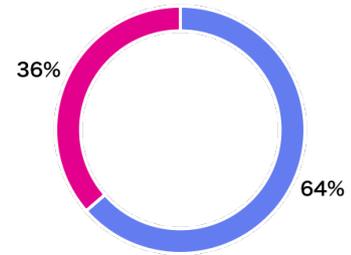
11. 質問 11 幼稚園は、子どもたちの心身の健全な発達を願い、保護者と連携を図っている。（保護者会、講演会、行事等）

- 1：強くそう思う 8
- 2：どちらかと言えばそう思う 3
- 3：あまりそう思わない 0
- 4：まったくそう思わない 0



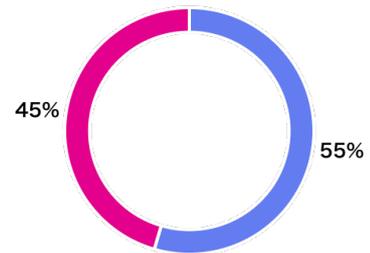
12. 質問 12 教員は幼稚園に勤めている事に誇りを持っている。

● 1：強くそう思う	7
● 2：どちらかと言えばそう思う	4
● 3：あまりそう思わない	0
● 4：まったくそう思わない	0



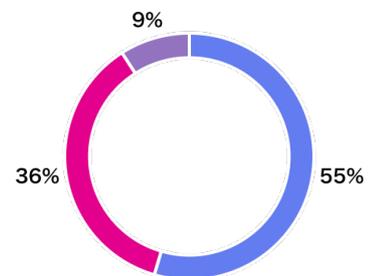
13. 質問 1 3 教員は向上心を持って幼稚園に勤めている。

● 1：強くそう思う	6
● 2：どちらかと言えばそう思う	5
● 3：あまりそう思わない	0
● 4：まったくそう思わない	0



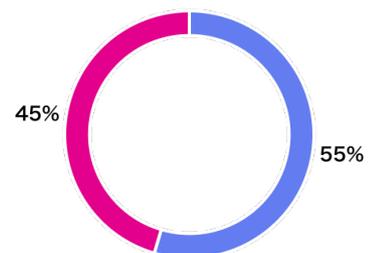
14. 質問 1 4 私は、学校法人聖学院のスクールモットーが「神を仰ぎ、人に仕う」"Love God and Serve His People"であることを知っている。

● 1：強くそう思う	6
● 2：どちらかと言えばそう思う	4
● 3：あまりそう思わない	0
● 4：まったくそう思わない	1



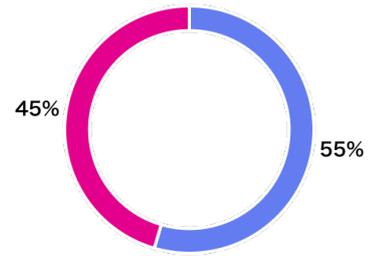
15. 質問 1 5 私は、学校法人聖学院のスクールモットーが「神を仰ぎ、人に仕う」"Love God and Serve His People"に共感している

● 1：強くそう思う	6
● 2：どちらかと言えばそう思う	5
● 3：あまりそう思わない	0
● 4：まったくそう思わない	0



16. 質問16 幼稚園は、「神を仰ぎ、人に仕う」"Love God and Serve His People"のスクールモットーに基づいて、保育目標である「神さまの愛の中で、人と関わりながら、生きる力を育む。」を大切に保育を実践している。

● 1：強くそう思う	6
● 2：どちらかと言えばそう思う	5
● 3：あまりそう思わない	0
● 4：まったくそう思わない	0



17. ご意見をお寄せいただけましたら幸いです。

1

応答

17. ご意見をお寄せいただけましたら幸いです（教員）。

- ・環境設定について、今後も考える時間が欲しいです。知っている人、知らない人（お庭の会にて）で取り組み方、熱量に差を感じます。お庭の会、園としてやっていることをみんなで共有できたらいいと思います。お庭の会に参加しなかった時、すごく後悔がのこりました。
- おっしゃるとおり、任意で進める活動が増えていくということは、同時に、それらの出来事を共有していく、情報や伝達の仕方を工夫していくことを、より大事に考えていくことだと思います。ご意見ありがとうございます。

幼稚園関係者による評価

《学校関係者評価について》今回は 2024 年度のクラス委員 10 名の方に学校関係者評価委員となっていただきました。

資料を読んだ中から、いくつか感想があります。

・「在園児でなく、その兄弟にも対応してくれのありがたい」

→これは私も思っていました。在園児の上の兄弟（他園卒業）にも、温かい対応をしていただけたことは、親としては、とてもうれしく、ありがたいです。

・「幼稚園からのお知らせに、誤字が多いことが気になります」

→アプリの配信内容などの誤字が、私も気になっていました。意味が通じるものなら、まだ良いと思うのですが、○日○曜日のように、日にちと曜日が一致していないものもあったので、認識間違いにつながるものは、気を付けて欲しいです。

・「ランチ BOX のチョコレートや、鶏小屋の倒壊など管理のゆるさが気になる」

→同意です。保育方針がおおらかなことと、安全管理は別ものだと思うので、園児の安全に関わることは、きちんとして欲しいです。

・私自身は働いてはいませんが、共働きの家庭にも配慮はだいぶされているとは思いますが、やはり手作りや、親の出番が多いと思います。簡素化できる部分はしていった方がいいのではないかと思います。

・今までは、お手紙やアンケートなど、紙で配布されアナログ的な対応でしたが、アプリへの配信に切り替え、加えて出欠席、バスの利用、預かり保育や給食の希望等、実施直前の意向までも細やかに対応して頂いています。とても使いやすく、保護者のニーズに応えてくださっています。大変満足しています。

・しびらきランチについて

価格をおさえる為の給食に偏らず、加工食品や添加物の少ない自然給食を味わえる選択肢を増やして頂き、食に対する意識の変化を大変評価しています。食への価値観は多様であり難しい課題であるにもかかわらず幅広い視点で対応して下さり、ありがとうございます。ぜひ、これからも続けて頂きたいです。

・1人めの子が年長で堂々とページェントを演じている姿をみて、とても感動したと同時に、配役から本番までは間がなく、どうして子ども達は演じきれのか疑問に思っていました。2人めの子は、満三歳児のクラス9月からお世話になりました。クリスマス会で先生がイエスさまのご降誕の物語りを丁寧にお話くださったのを拝見し、まさにページェントはキリスト教保育の中で子ども達が日々培われている力なのだと気付きました。こんなにも時間をかけて、丁寧に心の成長を図ってくださる先生方の熱心な姿勢と学びの深さに感嘆しています。

- ・園庭環境の充実を計って、色々と勉強して下さっていることは伝わってくるが、どのような園庭になっていくのか未来図が見えない。

見えないからこそ面白さ、皆で作っていくからこそ見えないことはわかるが、それは今後の園児に入園してもらう上で何の判断材料もないにならないかが心配（お近くの幼稚園が人工芝サッカー場作るようですし...）。

- ・作っていく園庭もよいが、昔の子どもが遊んでいた草ぼ一ぼ一で、ありのままの環境も好きだった。
- ・バスキャッチ便利
- ・先生方の心の豊かさが良い保育につながっていくと思うので、ぜひ就業規則に基づいた勤務にしてください。
- ・先生方1人1人がみどり幼稚園の保育を理解していることが接していてよく伝わってきます。
- ・顔を見かけると声をかけて下さって、どの先生も他学年でも子の様子を見て下さっていることがよくわかり、お話しをしてくれるのがとても嬉しいです。
- ・先生方への信頼度はかなり高いです。

- ・幼稚園の良いところをなくさないでほしい。

みどり幼稚園にしかない、走り回れる土が少なくなっていたりする。

- ・アプリの導入が本格化されて、画期的だなと感じた。

幼稚園としても行事の出欠など、集計がわかりやすかったのではないかなと思う。

おたより等も紙での配布を少なくしていきたいようですが、園だよりなどの園側がちゃんと伝えなくてはいけないものまで配信だけでよいのかなと感じます。配信でも配布でもデメリットとして読むか読まないかは受け取る側にあると思いますが、ちゃんと届けているという形も大事なのでは？

そして、保護者に意見や感想を求める際のアンケート機能は使いづらかったので、機能が改善されると嬉しい。ちゃんと書こうとすると保存機能もないので、全部を別に作って、それを貼りつけるしかなかったのが、そういった時には、アナログ（手書き等）の提出もあってもいいのかなと思う。

オリーブや給食等の入力や確認ができるので、とても助かりました。

- ・お庭の会等で年々、園庭が変化していて、子どもたちの遊び方にも変化があったりととても面白いなと思います。泥に塗れて遊ぶ姿に悲鳴をあげたくなりますが、子ども本来の姿なのかなと。これからどんな庭になっていくのか。とても楽しみです。
- ・自分もその一人ですが、今までにも卒園した保護者が幼稚園と関わっていきたいと思っていることはすごいなと思います。
- ・子どもにとっても保護者にとっても魅力ある幼稚園なので、長く続いてほしいですし、園長先生の掲げる世界一の幼稚園になってほしいです。

- ・保護者のみなさんに、園が子どものことを第一に考えて一人一人大切に育てているということはよく伝わっていると思いました。一方で、保護者や先生方の負担を心配している人が多いのかなという印象でした。みなさん、幼稚園と子どもたちのためにという理想に共感しているものの、実際にそれをカタチにするとなると色々課題があって悩んでしまう人もいるのでは。

できる人とできることを、選択肢が増える（任意参加）はいいことですが、するといつも同じ人ばかりが参加することになってしまうのかなとも思います。

まずは、保護者の方の意識を柔軟にする方がいいのかなと思います。

たとえば、フェスタの準備も、私は子どもコーナーの手伝いに数回行ったのですが、お手伝いの内容が種類別、細分化されていて、初心者でもすぐ取り組める状態で分かりやすかったです。短時間でも作業が完了するつくりになっていたのも、「参加したら中途半端になってしまって帰りにくい」という心理的負担がありませんでした。

お手伝いとか行ってみたいけど気が重いという人は案外多いと思うので、そういう人と取り込んで誰でも気軽に参加できるイメージを作ったら、任意参加でも参加者が増えるかと思いました。

- ・自分のクラスのお友達だけでなく、全園のお友達の名前をほとんど知っていることにおどろきました。（クラスだけではない）みんなと深く関わってきている生活を送っているんだなと感じました。
- ・キリスト教の行事を通し、季節を感じたりするようになりました。
- ・園で育った食べ物を食べることは、新鮮なもの、旬なもの、色んなことを感じられる。素晴らしいことだと思います。
- ・アプリで、バスの運行状況で、その日、利用のないバス停が分かると、バスが早目に着くのか、時間通りに来るのか予測しやすく、慌てて家を出ることも少なくなるかもしれません。
- ・お庭の会に参加し、娘（中1）がノコギリの使い方がとても上手くなりました。技術の授業で、板が上手に切れたと喜んでいました。
- ・ランニングワークショップなど、思わぬ学びがあって、おもしろいです。
- ・お庭や畑をもっと活用して、自然と生きていくおもしろさや、知恵、しくみ、など、学び、経験していきたいです。
- ・木のとっぺん辺りまで木登りしている子がいました。すごいなあと思いますが、怖いです。

<夏の水分補給について>

- ・昨今、地球温暖化の影響からか、夏の気温が高く熱中症が心配です。子ども達も楽しく遊ぶことに夢中で、水分補給を忘れがちです。先生方も声かけをして頂いているようですが遊びたくて飲まない子もいます。保育園では売かけと同時に、コップに少量茶を入れておき、飲んでない子を把握し、飲ませるといった事も行っているようです。子どもの自主性にそこは任せず、もう少し管理して頂けると安心です。
- ・又、バス2便のバス待ちの際にも、ギリギリまで遊び、お水を飲む暇もなくバスに乗ってからのどが渇くということもあるようです。出来れば希望者は水筒の持参を許可して頂けたらいいなと思います。

<保育について>

- ・子どもの自主性を尊重し、子どもにより添った保育を行って下さっていると感じます。
子どもの尊厳を大事にして下さっているため、安心して子どもを通わせることが出来ています。
又、先生方は保護者の自宅での対応に悩んだ場合にも相談に乗って下さったりと、とても優しく、助けられています。
- ・先日の例会で、時期によって国庭に出す遊具等のその保育的意図をお話し下さいました。(1学期はストライダーやブランコを出す等) その理由を、初めてお聞きし、納得したと同時に、先生方は本当に色々と子どもの発達のために考えて下さっているということを再認識しました。今後も、このようなことを共有して頂けたら嬉しいなと思いました。
- ・たまに、幼稚園に行くことがありますが、園庭にいる先生が少ないなと感じることもありました(特に、飛行機ジムの方)。広い園庭なため、もう少し先生の目が行き届くといいなと思いました。